

地下にも地上にも道路建設

地上の「外環の2」反対

無駄遣い。③緑豊かな石神井公園のすぐ脇を巨大な道路が通るのは、自然体系を壊すなどです。

この運動の中で、二〇一

二年、国が大泉インターチ

ェンジから一キタ区間の工

事認可をしたことに対し、

国を被告として「事業認可

処分取消請求」裁判をおこ

しました。原告の地域住民

五人のうち一人は私です。

被告・国は原告側の追求

に対し、まともに答えよう

とせず、のらりくらりと対

応しています。

地上部の道路は「外環の

2」と呼ばれています。突

然の計画に住民は驚き、不

安いっばいです。

私たちは「とめよう『外環

の2』ねりまの会」を立ち上

げ、反対運動をしています。

反対理由はたくさんあり

ますが、①「立ち退きを減

らす」「住宅地の環境を守

る」ということで、地下に

変更したはず。②高齢化、

車離れ、人口減少の中で、

巨費を投じての、地下、地

上の道路を造るのは税金の

今から約五十年前の一九

六六年に計画された「東京

外かく環状線」（外環）の

計画は地元住民の大反対で

凍結されました。外環道は

東京の外側を半径を描くよ

うにして計画された高速道

路です。

二〇〇七年、住宅の立ち

退きのない大深度地下方式

（トンネル）に変更されま

した。それに加えて練馬区

のゴリ押しで、地上部にも

道路を通すといいい出したの

です。

現在は一人暮らしの高齢

者が増えています。

高齢の住民は訴えていま

す。「今住んでいる地域で

のコミュニケーションの中

で助けられて、一人でも暮

らせているのに、移転など

したら待っているのは認知

症と孤独死だ」と。